第238回柏崎地域早期景気観測調査　報告書
＜LOBO調査結果＞
ー　令和元年9月期　ー

〔調査方法〕
　会員企業168社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」（※従業員DIについては今期水準）および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表します。
　DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

〔DI値とは〕
　DI値（景況判断指数）とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。
【業況】…「好転」-「悪化」
【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」
【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」
【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

〔調査対象業種〕
建設業　　総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業　　鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業　　建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業　　飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業　宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

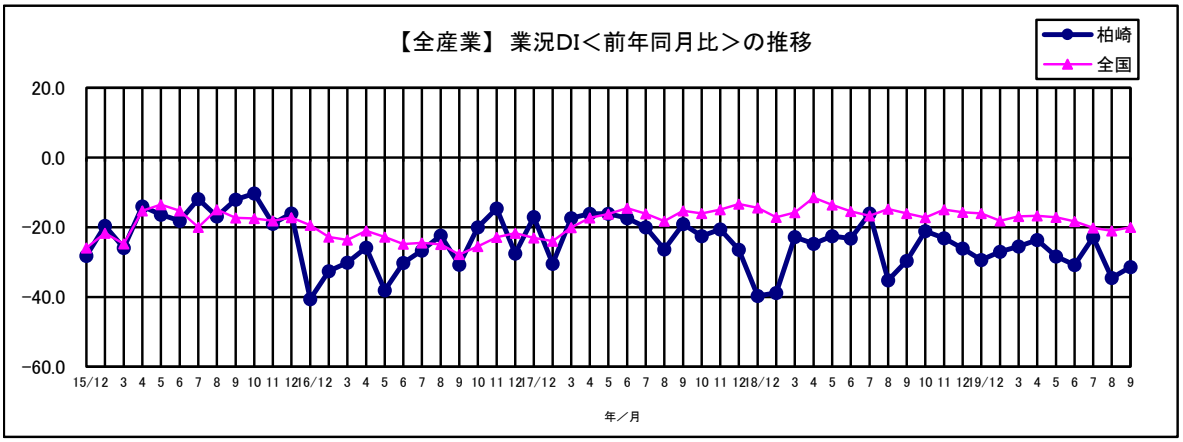
〔調査対象数・回答状況〕

業　種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	39	44	24	25	36	168
回答数	29	35	12	10	27	113
回答率（%）	74.4%	79.5%	50.0%	40.0%	75.0%	67.3%

柏崎商工会議所

◆概況（全産業合計）

項　目		19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	先行き見通し 10月～12月
業　況	柏　崎	▲ 23.6	▲ 28.4	▲ 30.8	▲ 22.9	▲ 34.5	▲ 31.4	▲ 40.4
	全　国	▲ 16.7	▲ 17.1	▲ 18.3	▲ 20.2	▲ 21.0	▲ 20.0	▲ 24.5
売　上	柏　崎	▲ 20.8	▲ 38.1	▲ 38.5	▲ 33.9	▲ 41.7	▲ 35.8	▲ 44.2
	全　国	▲ 9.2	▲ 10.1	▲ 11.9	▲ 14.8	▲ 13.2	▲ 11.4	▲ 16.8
採　算	柏　崎	▲ 25.0	▲ 38.0	▲ 36.3	▲ 34.4	▲ 29.9	▲ 39.0	▲ 42.2
	全　国	▲ 16.0	▲ 17.4	▲ 18.1	▲ 20.8	▲ 18.9	▲ 17.5	▲ 21.0
資金繰り	柏　崎	▲ 15.6	▲ 13.2	▲ 14.9	▲ 15.2	▲ 12.0	▲ 16.8	▲ 23.0
	全　国	▲ 9.6	▲ 8.7	▲ 9.6	▲ 11.2	▲ 11.3	▲ 10.9	▲ 13.2
仕入単価	柏　崎	▲ 42.9	▲ 42.7	▲ 39.0	▲ 39.2	▲ 36.6	▲ 38.3	▲ 35.4
	全　国	▲ 45.0	▲ 43.4	▲ 40.7	▲ 38.1	▲ 35.7	▲ 37.3	▲ 39.8
従業員	柏　崎	22.3	22.4	21.6	18.8	19.4	25.9	23.5
	全　国							25.1
資金借入難易感	柏　崎	1.1	7.7	1.5	3.7	1.2	0.0	▲ 2.6

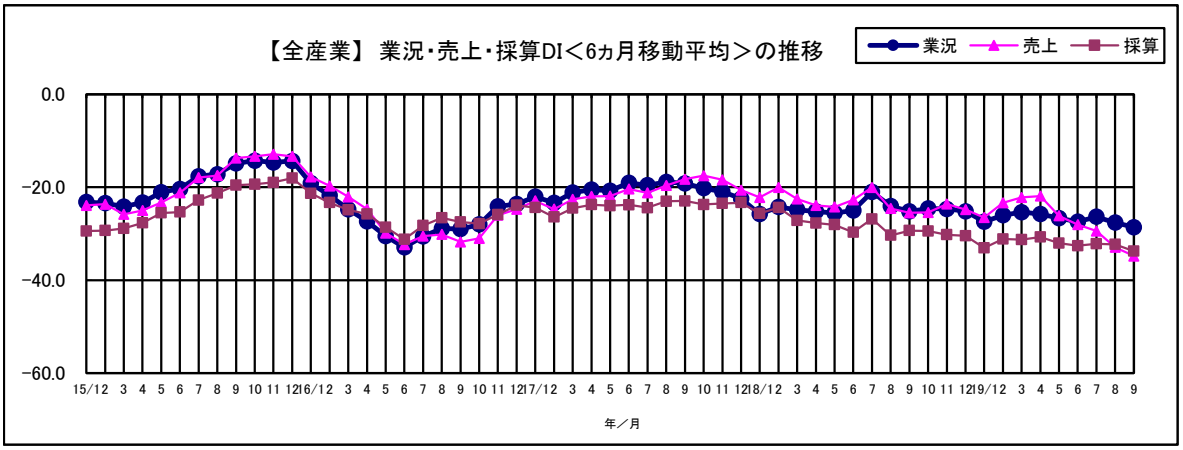


全産業の業況DI（前年同月比）は▲31.4となり、前月からわずかにマイナス幅が縮小した。しかし、先行き見通しを見ると業況・売上・採算DIとも▲40.0を超えており、厳しさを感じる結果となった。移動平均分析のトレンドをみると、業況・売上・採算DIはいずれも若干の下降傾向にあり、先行き見通しからも上向くきざしが感じられない。

＜移動平均分析（全産業）＞

時系列データでみた場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがありますが、移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

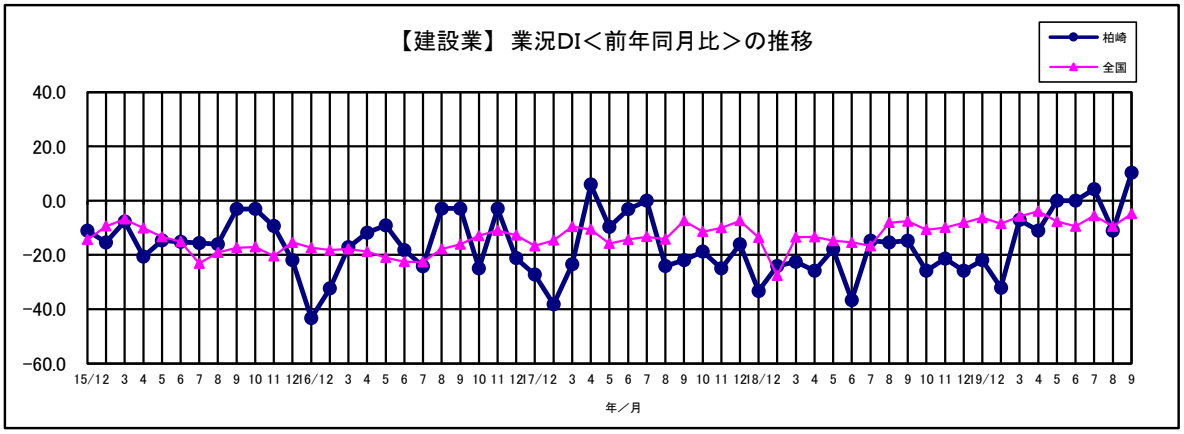
ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6ヵ月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



◆産業別調査結果

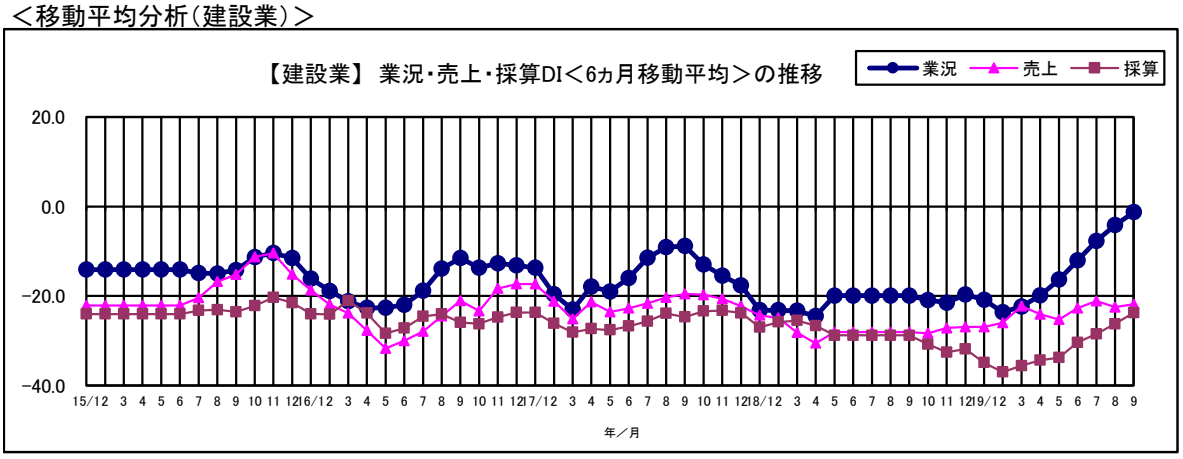
【建設業】

項　目		19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	先行き見通し 10月～12月
業　況	柏　崎	▲ 11.1	0.0	0.0	4.2	▲ 11.1	10.3	▲ 10.3
	全　国	▲ 3.9	▲ 7.7	▲ 9.5	▲ 5.6	▲ 9.5	▲ 4.8	▲ 8.2
売　上	柏　崎	▲ 40.7	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 29.6	▲ 3.4	▲ 17.2
	全　国	0.7	▲ 5.4	▲ 4.3	▲ 4.6	▲ 4.6	▲ 1.0	▲ 3.4
採　算	柏　崎	▲ 33.3	▲ 32.1	▲ 12.0	▲ 29.2	▲ 22.2	▲ 13.8	▲ 31.0
	全　国	▲ 11.1	▲ 15.7	▲ 12.3	▲ 15.5	▲ 11.8	▲ 9.9	▲ 12.6
資金繰り	柏　崎	▲ 18.5	▲ 21.4	0.0	▲ 8.3	▲ 25.9	▲ 6.9	▲ 13.8
	全　国	▲ 2.9	▲ 5.4	▲ 1.5	▲ 4.6	▲ 3.3	▲ 5.8	▲ 8.9
仕入単価	柏　崎	▲ 44.4	▲ 35.7	▲ 28.0	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 31.0	▲ 27.6
	全　国	▲ 48.2	▲ 46.6	▲ 47.5	▲ 45.4	▲ 46.4	▲ 43.7	▲ 41.6
従業員	柏　崎	37.0	42.9	44.0	41.7	33.3	48.3	44.8
	全　国							40.3
資金借入難易感	柏　崎	▲ 3.7	7.1	▲ 4.0	0.0	▲ 7.4	3.4	3.4



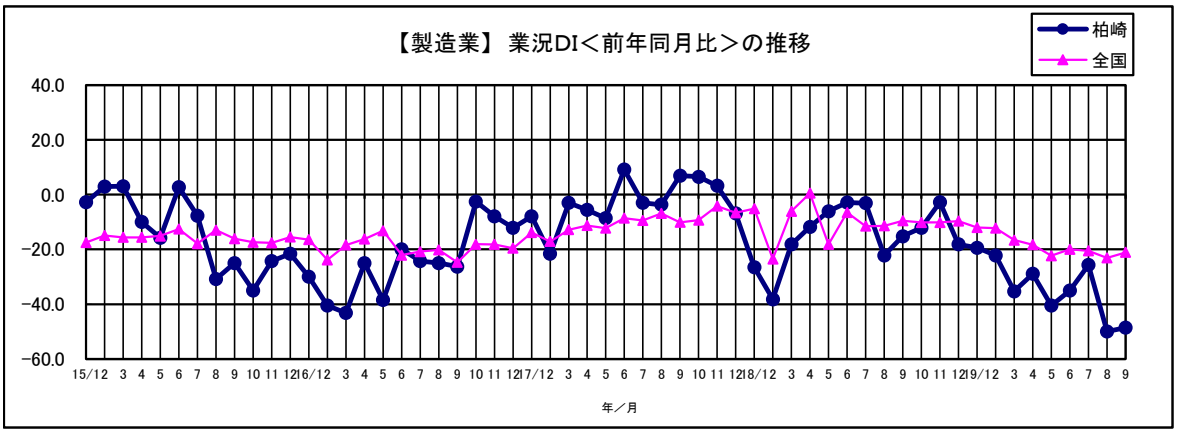
業況DIは前月から21.4ポイントアップの10.3となり、2カ月ぶりにプラス値となった。特に「総合工事業」と「職別工事業」に好転と解答した企業が多くみられたことが要因である。一方、先行き見通しの業況DIは▲10.3となっており、慎重な様子が伺われる。移動平均分析のトレンドをみると業況・採算DIは上昇傾向にあり、特に業況DIは来月以降プラス域へ転じる可能性がある。

＜移動平均分析（建設業）＞



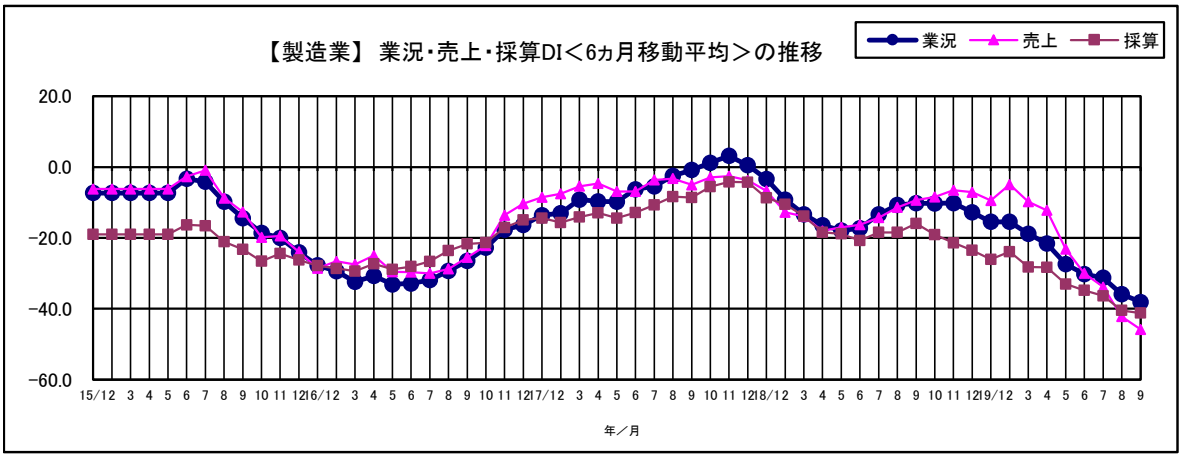
【製造業】

項　目		19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	先行き見通し 10月～12月
業　況	柏　崎	▲ 28.9	▲ 40.5	▲ 35.0	▲ 25.7	▲ 50.0	▲ 48.6	▲ 45.7
	全　国	▲ 18.3	▲ 22.3	▲ 20.0	▲ 20.5	▲ 23.1	▲ 21.1	▲ 24.7
売　上	柏　崎	▲ 23.7	▲ 51.4	▲ 50.0	▲ 37.1	▲ 52.9	▲ 60.0	▲ 48.6
	全　国	▲ 9.4	▲ 9.2	▲ 15.8	▲ 14.5	▲ 10.6	▲ 12.2	▲ 15.1
採　算	柏　崎	▲ 36.8	▲ 48.6	▲ 38.0	▲ 37.1	▲ 41.2	▲ 45.7	▲ 45.7
	全　国	▲ 18.1	▲ 20.1	▲ 23.5	▲ 22.3	▲ 18.5	▲ 18.3	▲ 19.8
資金繰り	柏　崎	▲ 15.8	▲ 16.2	▲ 14.7	▲ 17.1	▲ 11.8	▲ 22.9	▲ 20.0
	全　国	▲ 11.1	▲ 8.6	▲ 10.9	▲ 9.7	▲ 8.8	▲ 7.7	▲ 11.7
仕入単価	柏　崎	▲ 34.2	▲ 48.6	▲ 44.1	▲ 40.0	▲ 38.2	▲ 40.0	▲ 31.4
	全　国	▲ 52.0	▲ 48.6	▲ 46.8	▲ 42.4	▲ 40.2	▲ 37.6	▲ 36.2
従業員	柏　崎	5.3	5.4	2.9	5.7	0.0	▲ 2.9	0.0
	全　国							14.5
資金借入難易感	柏　崎	18.4	18.9	17.6	20.0	11.8	11.4	11.4



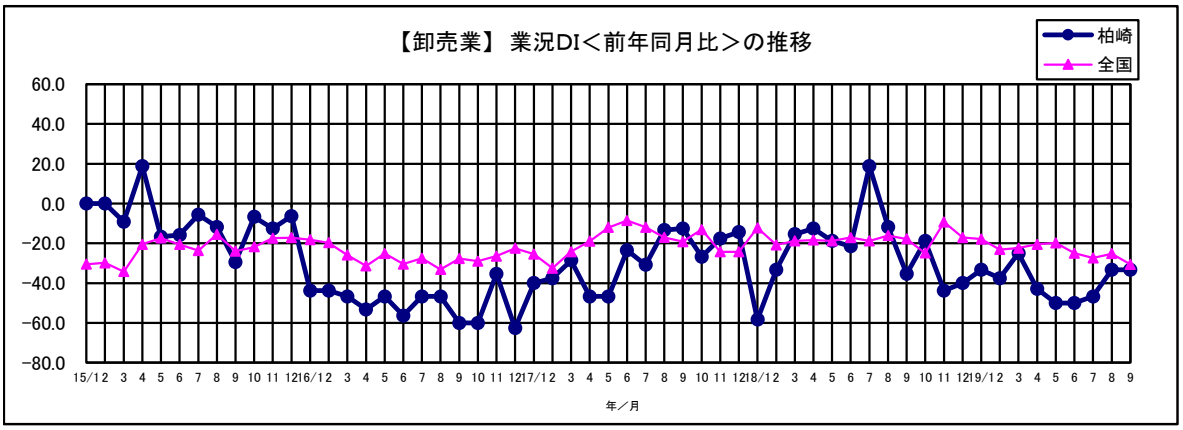
業況DIは▲48.6となり、前月からほぼ横ばい、売上・採算・資金繰りDIは更に悪化した。業況や売上においては過半数の企業が「悪化・減少」と回答している。先行き見通しも同じような状況であり、2018年12月期以降下降傾向に歯止めがかからない。

＜移動平均分析（製造業）＞



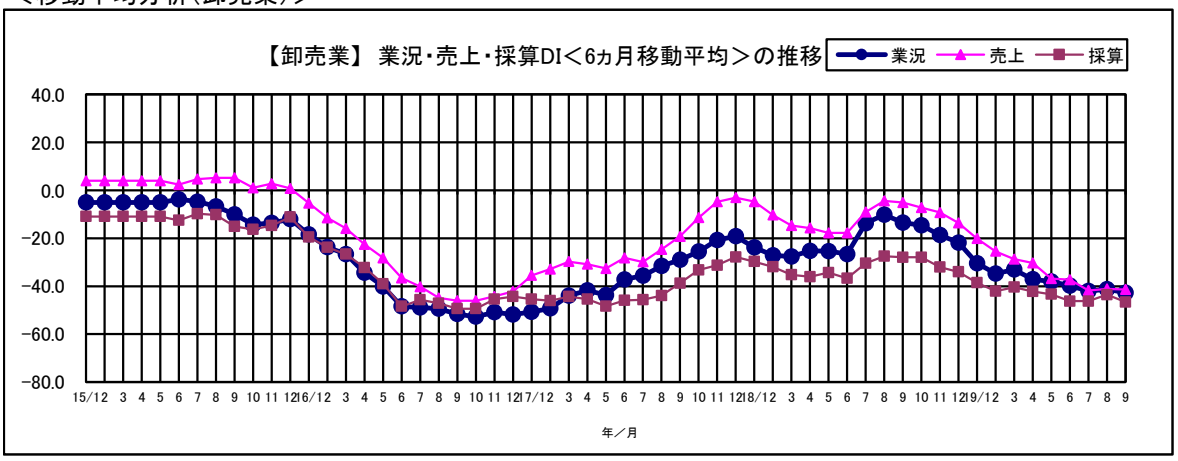
【卸売業】

項　目		19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	先行き見通し 10月～12月
業　況	柏　崎	▲ 42.9	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 46.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
	全　国	▲ 20.5	▲ 19.8	▲ 25.5	▲ 27.4	▲ 25.2	▲ 30.6	▲ 24.9
売　上	柏　崎	▲ 28.6	▲ 64.3	▲ 35.7	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 8.3
	全　国	▲ 11.9	▲ 10.8	▲ 23.4	▲ 21.1	▲ 15.9	▲ 18.8	▲ 17.9
採　算	柏　崎	▲ 35.7	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 25.0
	全　国	▲ 14.6	▲ 14.0	▲ 22.6	▲ 25.1	▲ 19.5	▲ 22.7	▲ 22.7
資金繰り	柏　崎	▲ 21.4	▲ 21.4	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 16.7
	全　国	▲ 8.7	▲ 12.2	▲ 9.8	▲ 13.9	▲ 13.7	▲ 12.2	▲ 12.2
仕入単価	柏　崎	▲ 42.9	▲ 21.4	▲ 42.9	▲ 26.7	▲ 26.7	▲ 8.3	▲ 25.0
	全　国	▲ 42.9	▲ 44.1	▲ 37.9	▲ 34.9	▲ 33.6	▲ 36.7	▲ 41.0
従業員	柏　崎	35.7	35.7	42.9	40.0	33.3	41.7	41.7
	全　国							18.8
資金借入難易感	柏　崎	0.0	0.0	0.0	▲ 6.7	▲ 6.7	▲ 16.7	▲ 16.7



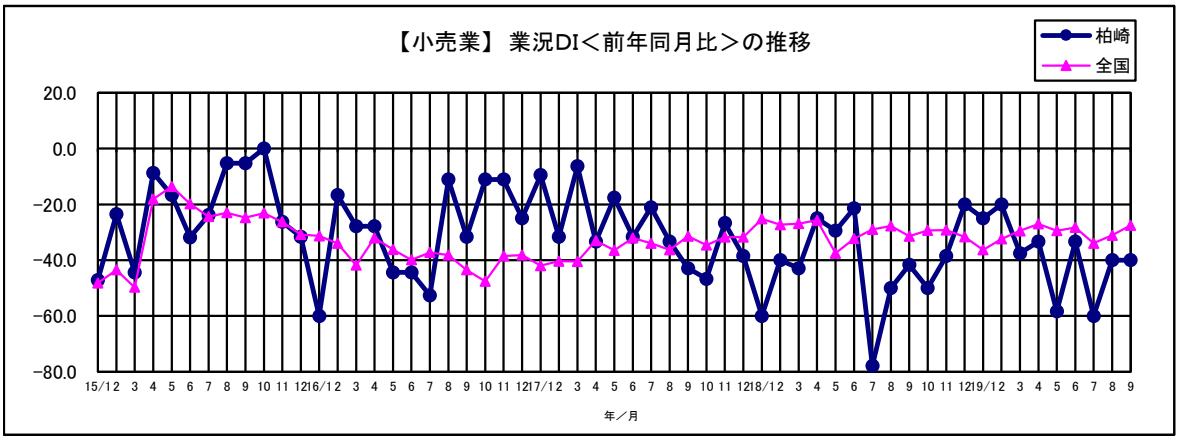
業況DIは▲33.3となり、前月同様であった。今回の調査結果では、前回の消費税増税時に見られた増税前の駆け込み需要が見られなかった様子である。移動平均分析のトレンドは、2018年9月期以降下降傾向にあり、先行き見通しを見ても上向くきざしが感じられない。

＜移動平均分析（卸売業）＞



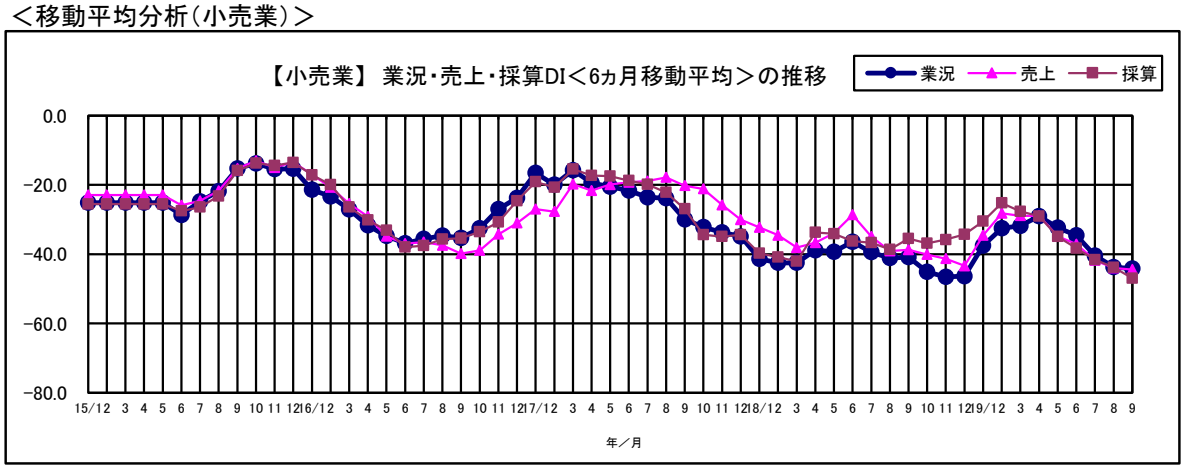
【小売業】

項　目		19年4月	19年5月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	先行き見通し 10月～12月
業　況	柏　崎	▲ 33.3	▲ 58.3	▲ 33.3	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 70.0
	全　国	▲ 27.0	▲ 29.4	▲ 28.3	▲ 33.9	▲ 31.1	▲ 27.5	▲ 42.4
売　上	柏　崎	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 40.0	▲ 53.3	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 60.0
	全　国	▲ 25.7	▲ 26.0	▲ 24.1	▲ 30.5	▲ 26.9	▲ 16.7	▲ 34.4
採　算	柏　崎	▲ 33.3	▲ 58.3	▲ 46.7	▲ 53.3	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 70.0
	全　国	▲ 25.7	▲ 28.4	▲ 24.1	▲ 28.6	▲ 29.9	▲ 23.9	▲ 33.7
資金繰り	柏　崎	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 26.7	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.0
	全　国	▲ 18.3	▲ 14.9	▲ 16.0	▲ 17.8	▲ 18.2	▲ 18.8	▲ 20.8
仕入単価	柏　崎	▲ 53.3	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 50.0
	全　国	▲ 38.6	▲ 37.1	▲ 34.2	▲ 34.9	▲ 30.3	▲ 34.7	▲ 40.6
従業員	柏　崎	13.3	▲ 16.7	13.3	0.0	▲ 13.3	0.0	0.0
	全　国							23.1
資金借入難易感	柏　崎	▲ 13.3	▲ 8.3	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 20.0	▲ 20.0



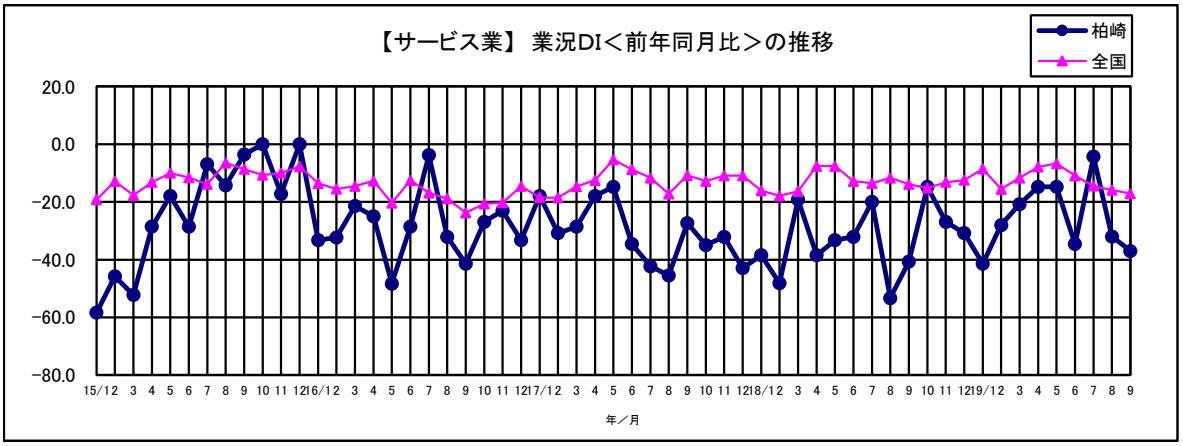
業況DIは▲40.0となり、前月と同様であった。先行き見通しにおいて業況・売上・採算DIのいずれも大幅な落込みが予想されており、非常に厳しい様子が伺われる。移動平均分析のトレンドを見ると5月以降下降しており、先行き見通しのデータからも悪化が予想される。

＜移動平均分析（小売業）＞



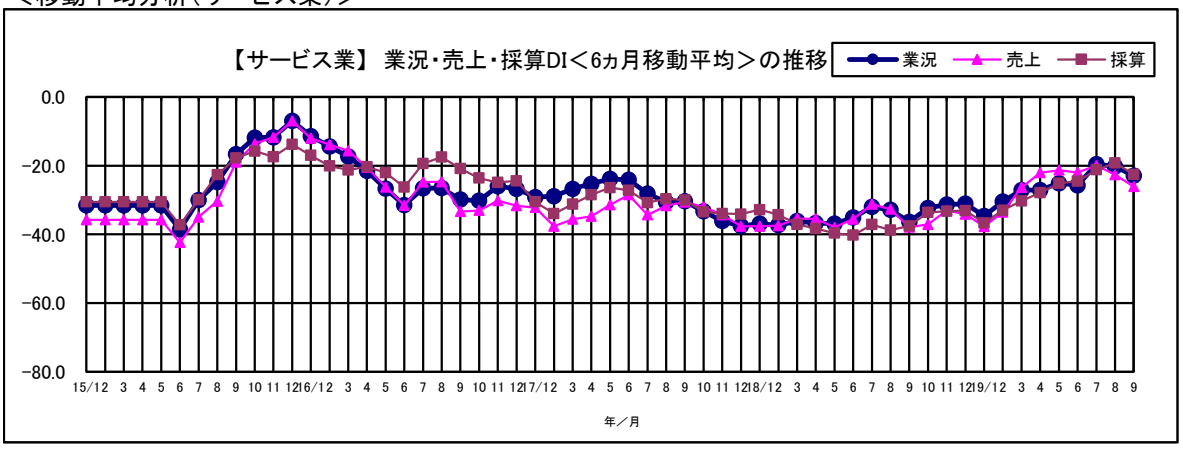
【サービス業】

項　目		19年5月	19年6月	19年6月	19年7月	19年8月	19年9月	先行き見通し 10月～12月
業　況	柏　崎	▲ 14.8	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 4.3	▲ 32.0	▲ 37.0	▲ 44.4
	全　国	▲ 6.7	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 14.5	▲ 15.9	▲ 17.1	▲ 19.8
売　上	柏　崎	▲ 14.8	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 26.1	▲ 44.0	▲ 33.3	▲ 59.3
	全　国	▲ 0.6	1.9	1.9	▲ 5.5	▲ 8.6	▲ 9.2	▲ 12.0
採　算	柏　崎	▲ 18.5	▲ 34.6	▲ 34.6	▲ 21.7	▲ 16.0	▲ 40.7	▲ 40.7
	全　国	▲ 8.5	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 14.3	▲ 14.5	▲ 13.7	▲ 16.3
資金繰り	柏　崎	3.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 8.7	0.0	▲ 18.5	▲ 29.6
	全　国	▲ 4.2	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 10.0	▲ 12.2	▲ 10.2	▲ 11.4
仕入単価	柏　崎	▲ 48.1	▲ 38.5	▲ 38.5	▲ 43.5	▲ 48.0	▲ 48.1	▲ 40.7
	全　国	▲ 41.0	▲ 37.1	▲ 37.1	▲ 35.1	▲ 30.3	▲ 34.7	▲ 40.8
従業員	柏　崎	37.0	23.1	23.1	21.7	40.0	40.7	33.3
	全　国							30.6
資金借入難易感	柏　崎	▲ 8.3	7.4	▲ 3.8	4.3	4.0	0.0	▲ 7.4



業況DIは前月から5.0ポイントダウンし、▲37.0となった。特に「観光サービス業」では、業況・売上・採算の項目において「好転・増加」の回答が全くみられず、先行き見通しでも同様の状況となっている。移動平均分析のトレンドを見ると7月期まで上向きで推移していたものの、8月期以降下降傾向となっている。

＜移動平均分析（サービス業）＞



◇9月期調査に寄せられたコメント(自社の動向、経営上の課題など)
＜製造業＞
・ユーザーの活気不足が影響し、受注減。今後はしばらくスピード感の無い状況となりそう。
・客足からコストダウン要請が顕著。

◇【日本商工会議所LOBO調査による9月期の業況】

【建設業】
人件費・外注費の増大や受注機会の損失など深刻な人手不足の影響が続く一方、省力化投資を中心とする設備投資や都市部の再開発など民間工事が堅調に推移し、改善。消費税引上げ前の駆け込み需要を指摘する声も聞かれる。

【製造業】
半導体や産業用機械関連を中心に不振が続くものの、堅調な建設業の関連商品の受注増加が寄与し、改善。一方、激化する貿易摩擦や中国経済減速の影響、世界経済の先行き不透明感の広がりを指摘する声も依然として多く聞かれる。

【卸売業】
台風15号や大雨などの被害による供給不足や価格上昇が見られた農産物・飲食料品関連が全体を押し上げたほか、運送費や人件費上昇分の価格転嫁が難航しているとの声も聞かれ、悪化。

【小売業】
消費者の節約志向を指摘する声は根強いものの、10月の消費税引上げを前に、家電製品や家具など高額商品を中心とする駆け込み需要に伴う売上増加が寄与し、改善。

【サービス業】
飲食・宿泊業を中心に大雨などの天候不順により客足が減少したほか、人件費の増加や受注機会の損失など、深刻な人手不足が幅広い業種の業況感を押し上げ悪化。

◇【専用住宅及び併用住宅の市内・市外施行業者別確認件数】

		市内施工業者	市外施工業者	計
9月	新築	7	12	19
	増築	2		2
	改築	1		1
	移転			
	用途変更			
	計	10	12	22
前月までの累計	新築	41	64	105
	増築	6		6
	改築	5	5	10
	移転			
	用途変更			
	計	52	69	121
合計		62	81	143

（件）

（資料：柏崎市 建築住宅課）